

平成24年

冬

こらぼ



新年のごあいさつ

明けましておめでとうございます。

皆様には、お健やかに新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

昨年3月11日の東北地方の巨大な地震と大津波、それに加えて原発の被害にあわれた方々に心よりお見舞い申し上げます。

さて、このたび新たに名称「こらぼ」を発行することになりました。新しく発行の「こらぼ」により、大田区区民活動支援施設こらぼ大森が、さまざまな住民の方々の交流を深め、より多くの区民の皆さまに利用いただける施設となるよう、また目的の異なる法人との連繋を緊密に行い、情報の共有を図るよう努めてまいります。

今年の干支は辰、又は龍とも呼ばれます。虎が龍の背に乗って、空から小さな日本の現状を見下ろしたら、種々の風評被害、食品への消費者の不安など、被災地周辺住民だけでなく日本国民の問題になっていることが見て取れるでしょう。この現況を理解できる報道をして欲しいと思います。

区民活動支援施設として、情報の交換や、交流の場としてこらぼ大森をご利用いただけるよう、一層努力いたします。

新しい年が皆様にとり幸多き年でありますよう、心よりお祈り申し上げ、新年のごあいさついたします。

特定非営利活動法人大森コラボレーション

理事長 後藤三郎

「こらぼ大森」が生まれるまで

大田区区民活動支援施設大森「こらぼ大森」が開館したのは、平成 16 年 4 月 1 日です。平成 14 年 3 月 31 日に、旧大森第二小学校と共に閉校した旧大森第六小学校の跡地を利用した施設です。

この施設の特徴は、子育て支援施設・高齢者施設・区民利用施設・協働支援施設という、それぞれ機能や対象の違う施設が、複合して同居していることです。このような複合施設が誕生するに至った経過は、大森西特別出張所の呼びかけに応じて集まった地域のいろいろな方々の話し合いの結果です。

まず、平成 14 年 6 月「旧大森第六小学校施設活用協議会」という討議のための会が誕生しました。この会では、招集された委員メンバーのほかに、毎回たくさんの傍聴の方々も参加し、その方たちの意見も伺いました。また、2 回にわたり、地域の方々も参加した施設活用ワークショップも開催しました。このワークショップには自治会町会の方々や、地域活動をなさっている方、PTA の関係者などさまざまな立場の人たちが集い、それぞれの意見を聞き合いました。これらの討議のほかに、提案書も 15 件いただきました。提案書には、障がいを持った方々のため、子育て・子育てのため、中高生、高齢者、まちづくりなど、あらゆる立場世代に関わる提案が含まれていました。この施設活用協議会は、ここでまとめられた意見を提言書として大田区に提出しました。この提言を受けた大田区は、できる限り住民の意見を反映させる形で施設活用を決定しました。さらに住民の意

見を反映させるため、「旧大森第六小学校施設運営準備協議会」を発足し、5つの作業部会を置いて子ども・高齢者などの課題ごとの討議を行いました。

それらの意見を反映して作り上げられたのが、「こらぼ大森」です。平成 15 年 8 月には、改修工事が始まりましたが、この工事と並行して、利用のルールづくりや設備の詳細などの検討が続けられました。その結果、貸出し時間の区分などにも、利用する区民の意見が反映されました。また、安全への配慮やバリアフリー化・備品の選択など具体的な部分にも区民の声が活かされています。区民の要望が反映された一番の例は、子ども交流センター内に作られたバンド練習用のスタジオです。中高生にも対応する施設として、子ども作業部会内部で強い要望のある施設でしたが、当初は予算の問題などがあり実現は難しいと言われていました。しかし、必要性を訴え続けたことが功を奏してか、最終的に防音の施されたスタジオができました。4 畳程度の小さなスペースですが、放課後や土日、高校生や中学生たちが練習に励む、子ども交流センターの重要な役割を占める場所になっています。

この「こらぼ大森」の成り立ちの経過は、行政と区民が知恵や時間などを共有し、共に「汗を流」した「協働」のプロセスだと思います。このプロセスを反映して、今、こらぼ大森の中では、さまざまな新しい協働が動いています。今後は、これらの協働の様子も、この「こらぼ」紙面を通じてお伝えしていきたいと考えています。

「こらぼ大森」年表

平成22年5月29日	ペットボトルキャップリサイクルのための回収を開始する
平成22年5月29日	こらぼ大森オープンデー開催
平成21年4月1日	こらぼ大森が指定管理に移行し、管理代行を行う
平成18年6月	NHKテレビ「ご近所の底力」に取り上げられる
平成18年4月1日	大森コラボレーションが大田区よりこらぼ大森の管理を受託
平成16年12月5日	チャリティー講演会開催
平成16年11月20日	福祉エアロビクス教室開催
平成16年11月16・25日	指定管理者制度に関する勉強会開催
平成16年7月25日	第1回こらぼ大森夏まつりを開催する
平成16年4月3日	「こらぼ大森」設立記念セレモニー開催
平成16年4月1日	大田区民活動支援施設「こらぼ大森」開設
平成16年3月12日	運営協議会設立総会開催
平成16年3月6日	施設見学会開催
平成16年1月	施設の愛称を区民より公募する。
平成16年1月	運営協議会への組織改変を決定
平成15年12月	大田区が施設設置条例を制定
平成15年11月	OTAふれあいフェスタ参加
平成15年10月30日	子ども作業部会がNPO法人化する
平成15年9月27日	協働フェスティバル開催
平成15年8月30日	子ども会議開催
平成15年1月	旧大森第六小学校施設運営準備協議会発足
平成14年12月	大田区の基本的考え方が提示される
平成14年9月	大田区へ提言を行う
平成14年6月10日～8月	施設活用協議会開催
平成14年3月31日	大田区立大森第六小学校閉校



「こらぼ大森」設立時のワークショップの風景

「こらぼ大森」施設紹介

こらぼ大森は、『複合施設』です。利用なさる皆さんには、分かりづらいかもしれません。

区民利用施設（16歳以上で、大田区にお住まい、または勤務先や学校が大田区内にある方が登録をして使うことができます。登録の時には、身分を証明するものをお持ちください。）

●グラウンド 天然芝 40m×50m・有料



サッカーや野球などに使用できます。秋期約1か月の養生期間があります。詳しくは受付にお問い合わせください。

●体育館 22m×19m・有料

バレーボールコート1面、バドミントンコート2面が取れる広さです。卓球台、バレーボールネット、バドミントン支柱等も有料で貸出します。

●いろいろルーム 10m×8.2m(内畳15畳)・有料

一部畳敷きの部屋です。会議、懇親会、ヨガ、日本舞踊練習、その他いろいろな用途でご利用いただけます。飲食可能

●多目的室 12m×8.2m・有料

会議、懇親会、体操等多目的に利用いただける、有料貸出し施設です。会議の場合、3人掛け



テーブルが17本あります。飲食可能

【お問い合わせ】

こらぼ大森

TEL 03-5753-6616

●子ども交流センター

大田区が設置し、NPO 法人おおもり子どもセンターが運営する乳幼児から高校生まで利用できる施設です。学童保育室、ファミリールーム、中高生向け音楽練習室などを備えています。

【お問い合わせ】

子ども交流センター

TEL 03-5753-6801

FAX 03-5753-6802



●大田区シルバー人材センター大森西作業所

退職後も、社会に役立ち、時間も有効に活用したいという元気な高齢の方々が仕事を分け合いながら、軽作業などを行っています。

【お問い合わせ】

(公益社)大田区シルバー人材センター本部

TEL 03-3739-6666



「こらぼ大森」の1階(1部)と2階は **協働支援のスペース**です。

協働支援施設は、NPO、自治会、町会など区民活動団体が、連携・協働して活動を実践する場です。大田区区民活動情報サイト「オーちゃんネット」に登録している団体や、これから活動を始めようとする方が利用できます。

特定非営利活動法人「大森コラボレーション」並びに「大森まちづくりカフェ」が活動に関しての相談などをお受けしています。

【共同事務室】

- ・事務室用に4ブースに区切った元教室が2部屋あります。区民活動団体が原則3年間有料で使用できます。(月額5,000円・光熱水費込み)
- ・空き区画が生じた場合は、区報等でお知らせします。

【情報交流室Ⅰ】

- ・NPOの設立や運営に関するご相談におこたえます。
- ・NPOに関する資料や書籍、企業のCSRレポートなどを見ることができます。
- ・インターネットにつながったパソコンを利用して情報収集もできます。

【情報交流室Ⅱ】

- ・新事業を始めたい方や、ネットワークを広めたい方の交流と情報交換の場所です。
- ・ハーブティーなど用意しています。(有料)
- ・火曜～金曜 10時～16時
土曜 11時～17時 オープン

【ワーキングルーム】

- ・印刷、製本などの作業ができます。
- ・印刷機は有料です。印刷用紙をご持参ください。紙折り機(無料)も用意しています。
- ・事務用品などを保管するロッカーも貸し出しています。お問い合わせください。

【ミーティングルーム】

- ・少人数での会議や、短時間の打ち合わせなどに、予約無し(無料)で利用できます。
- ・パーティションで仕切っていますので、他団体と重なった場合は、譲り合ってください。

【会議室】

- ・登録した団体が利用できる、事前予約が必要な会議室です。
- ・最大45名くらいまで使用できます。
- ・プロジェクター用スクリーン設置、プロジェクターは有料でお貸しします。

【調理室】

- ・高齢者世帯などに配食する団体専用で、予約が必要な有料の施設です。
- ・配食を希望する世帯にお弁当を届けると共に、見守り活動も行っています。
- ・ボランティアを募集している団体もあります。

協働支援施設の利用その他詳しい内容に関するお問い合わせは

TEL/FAX 03-5753-6560

(こらぼ大森情報交流室Ⅰ)

E-mail CBC10286@nifty.com

こらぼを支えるボランティア

「みどりのボランティア」

こらぼ大森は、旧大森第二小学校と第六小学校が統合されたため、平成16年に、子ども交流センター、協働支援施設、シルバー人材センターがコラボレーションし、設立となりました。ほどなくして、グラウンド周りの雑草がひどく、花壇も手入れをされておらず、ひどいものでした。最初は地域の長生会にお話があったのですが、高齢の身では、きついとの事で、少々若かった私共に声がかかり、初ボランティアとなりました。

最初は13名でしたが、参加者も増え、今は19名になり、4班に分け、ひと組が1週間ごとの当番制で、花壇の手入れや水やり、四季の花を咲かせております。土を



耕し、苗を植え付け、春は水仙、チューリップが見事に咲きました。夏は胡瓜、トマト、その中に、大輪の向日葵。秋はコスモス、菊。冬には葉牡丹、ビオラは寒い中、けなげに咲いております。こらぼ大森の玄関前の植木と花の手入れは、ボランティアの有志が率先して、手入れをして育てております。こらぼ大森においでの際には、ご覧ください。私達は南門のフェンスの下、また体育館側の雑草取りなどの、手入れ掃除を班ごとに行っております。少々若かった私

たちも高齢者となって参りました。若い方たちも、「みどりのボランティア」に、参加くださいますよう、お願いいたします。

みどりのボランティア 田中恵子

活動団体紹介

「食事サービス連絡会」

私たちは、こらぼ大森の調理室で活動する「食事サービス連絡会」です。

この写真は当会で隔月開いている「会食会」の様子です。地域の高齢者に季節のメニューで昼食を用意し懇談していただく「会食会」はもう8年続いています。

「こらぼ」と「食事サービス連絡会」の関わりはこらぼの開設準備の段階からの付き合いになります。地域に役立つ施設にするために当時の高齢者部会の方々から声をかけて



いただき調理室の施設を「食事サービス連絡会」が日ごろ行っている配食サービス（昼食・夕食をお弁当にして利用者に届ける）で活用できるように改装してもらいました。開設した時点から、「けやき」「こらぼ このはな」「サポートぱんぷきん」の5つのグループが、配食活動

をおこなっています。毎月おおよそ500食くらいのお弁当が、高齢者のお宅に届けられています。お昼近く、または午後4時前後お弁当を運ぶ協力者と皆さんが顔を合わせているかもしれません。

行事紹介

「ポレポレ ECO まつり」

参加人数 2600 人

今年度も多くの方々のご協力を頂き「ポレポレ ECO まつり」が 10 月 16 日（日）快晴のなか行うことができました。昨年は季節はずれの台風の影響でバタバタした中でのおまつりでしたが、今年は少し暑いぐらいの陽気となりました。

夏休み前から企画・準備を始めましたが、おまつりが近づくにつれてあれこれと不安なところを抱えながら当日を迎えました。そんな中でも、子どもたちは様々なお店や遊びを考えて実行委員会の日には集まっていぎやかに準備をしていました。特に、今年のテーマ“きずな”をどのように作っていくかは難しいことでした。3 月の震災後の不安感を抱えながら、しかしそれをはずすこ

『電力を使わず、ゆったり、ポレポレ』

とができない雰囲気の中で、電力を極力使わない、そして何より“きずな”が反映されるかは心配でした。お神輿、よさこいソーラン、からのオープニング“きずな”探しの劇でのエンディングまで本当によいしょの会・どっこいしょの会の皆さんはじめ、参加された皆さんのおかげでたくさんの“きずな”をつくることができました。ありがとうございました。

（文責 おおもり子どもセンター
羽田澄子）



大森学園高等学校教頭 安達 毅



生徒たちがこらぼで開催されるイベントのお手伝いをさせていただく度に、地域の皆さんからお礼の言葉をかけていただきます。

私たちは『学校は地域にある社会的あるいは人的資源を活用させていただき、反対に地域は学校施設そのものやその中で

『大森学園の生徒さんがいてくれた

おかげで・・・ほんとうにありがとうございます』

行われている教育活動を資源としてお互いが活性化する。それこそが開かれた学校のあり方であり、両者が共生して初めて、生徒のハートに種を蒔くことにもなり、蒔かれた種に多くの方々が関わることで大輪が咲く。これこそが真の人間教育につながっていく』と思っています。実は本当は私たち大森学園の方がこらぼの皆さんに感謝しているんです。いつも本当にありがとうございます。今後ともよろしくお願いします

2012 年イベントスケジュール(1 月～3 月)

※日程は事情により変更する場合があります。詳しくはお問い合わせください。

1 月		
1～3 日	年始休館日	
5 日	施設利用抽選日	A
7 日	書初め会	B
11 日	どんと焼き	C
14 日	絵手紙教室	B
15 日	いろいろスポーツ教室	G
17 日	健康チェック	E
17 日	ニットカフェ	D
18 日	ニットカフェ	D
21 日	折り紙教室	B
21 日	会食会	F
23 日	おしゃべりカフェ	D
29 日	いろいろスポーツ教室	G

2 月		
3～25 日	子ども交流センター展覧会	C
5 日	いろいろスポーツ教室	G
11～12 日	休館日(工事による停電のため)	A
18 日	折り紙教室	B
19 日	いろいろスポーツ教室	G
20 日	おしゃべりカフェ	D
26 日	休館日(全館清掃のため)	A

3 月		
3 日	だれでもコンサート	B
4 日	いろいろスポーツ教室	G
10 日	絵手紙教室	B
10～25 日	みんなの展らん会	B
17 日	折り紙教室	B
18 日	いろいろスポーツ教室	G
25 日予定	CoCo 卒業ライブ	C
6 日予定	防災避難訓練	A

毎週火曜日	大人のやさしいバレエサロン	G
毎週火曜日	少年サッカー教室	H
毎週土曜日	福祉エアロビクス教室	B

A: こらぼ大森 03-5753-6616
 B: (特)大森コラボレーション 03-5753-7884
 C: 子ども交流センター 03-5753-6801
 D: 情報交流室 II (おおたOrganicFarm) 03-3763-7314
 E: 城南保健生活協同組合・野口 03-3762-0266
 F: 食事サービス連絡会・村山 03-3742-5507
 G: 日本スポーツ文化創造協議会 03-3762-4107
 H: (社)大森フットボールクラブ info@ohmori-fc.com

MAP



【最寄駅】京急・平和島駅下車 徒歩 8 分

JR 大森駅東口及び JR 蒲田駅東口から京急バス(森 50 系統バス)大森西二丁目停留所下車 徒歩 5 分

〒143-0015 東京都大田区大森西 2 丁目 16-2 電話 03-5753-6616 FAX03-5753-6560 (こらぼ大森)